

## 小国地域づくり交流会 アンケートまとめ

## 1 交流会に参加しての感想

- 各団体の課題、方向が聞けた。団体間でコラボレーションができれば最高。
- 他の人の活動が聞けた。皆さんに自分たちの活動を知ってもらえた。
- 小国地域で活動している会を知ることができよかったです。
- 異業種団体の様子が判る。
- 地域内にさまざまな会があることを知ることができた。
- 町内にいろんな団体があることを知りました。
- 顔、名前を知っていても何をやっている人かというのは、地域にいてもわからないものなので、会に出てみるとそこが理解できて良い。
- 諸団体を知ったこと。
- 同種団体別の会、全体的（目的、横断的）な会、両方の会を設定していただきたい。
- 多岐にわたる話を聞くことも良かった。
- 代理参加だったが、色々の団体の活動状況などを聞かせて頂きとても良かったです。
- 色々活動しているお話を聞いて勉強になりました。
- 地域づくりについての考え方が色々あるという事がわかった事と、地域づくりには、まず自分達を中心に考える事だという事を思った。
- それぞれの組織の目的や考え方等が違う。
- みなさんの活動を知ることが出来てよかったが、内容がむずかしくてわからず、関係ない話が多かった。
- 各団体の活動を多く知る事が出来て良かったが、難しい活動内容の団体もあった。
- 多くの団体が地域の発展の為に活動されていると思いました。
- いろんな団体の活動されている方の意見を聞かれて参考になりました。
- 色々の団体が活躍している姿が大変喜ばしい。
- 小国地域の中で様々の活動をされている団体があることがわかった。
- いろいろな団体（生産に関わる団体や文化に関する団体等）の活動が、小国レベルでどのように行われているかがわかってよかった。
- 中山間地小国の農業を守る活動が進みつつあることに希望を持ちたい。
- 参加団体が多様な点は、今回は評価できる。

- 今回は1回目の交流会で「だんだん」を利用してどうなのかの意見交換だと思った。
- 私達の活動がどのような形で地域づくりにつながるのか、概ね方向が見えた。
- (参加団体を)シャッフルした結果が得られたのでは。
- いろいろな団体の活動が具体的に分かった。「みんなで考える」という機会をもてた。
- 発足の経過、目的、組織等の全体像が見えない。
- 団体が多すぎる。
- 1回目の地域づくり交流会で各組織の活動状況が判り参考になったが、今回も同じような内容であり、一步進んだ内容が欲しい。
- あまりにもいろいろな団体の集まりで、会話が見えてこない。
- 各団体で一生懸命まじめに取り組んでいることに感銘を受けた。

## 2 どのような会であることを望むか(次回開催方法に対しての要望)

- 地域委員会としては、横断的な交流を進めることで、相互連携、共同企画の芽が育てば最高と考えます。
- 交流会を続けるとしたら、地域に根ざしたグループと趣味のグループに分ける必要があると思います。
- 地域で情報を共有すること。
- 会が持っている共通の悩みを、語り合う会にしてほしい。
- 同じような団体の活動を参考にしたい。
- 何をしているのかぼんやりとでもわかってもらえていたら何かでお役に立てるかもなので、少々でもお話させていただければ上等です。
- 行政が個人情報保護法で公表できない、しない中山間地の取組み等、交流、研究できればありがたい。
- 直接関係はないと思いますが、人と人の会話は大切なことと思います。話題提供の1つになると感じました。
- 特に望むことはない。
- 特にわかりません。
- 特になし。
- 小国町の発展につながる交流会に。
- 今回の交流会のような内容で良いと思います。趣味の会、サークルグ

ループの交流会も良いのではとっている方もいました。

- 出席団体が事前に解ったら大体の内容を記して、それを元に検討するのも一つの方法ではないでしょうか。
- 共通の課題を持つ団体の交流と、全体の交流と、2部制にするほうが会議としてよいのでは――。
- このような全体会も、町全体の活動へ新しい動きを把握するのに役立つので続けてほしい。また、これを契機に、関連する団体が別に交流し続けていくのも、この会の趣旨に合うと思う。
- 具体的な行動に結びつく（文章中断？）
- グループわけを考えたほうがいい。分科会はもっと小さく、全体会ではアイスブレイキングが必要です。
- どちらかといえば私達の活動は専門分野であり、余り役立つ場面は考えられないか・・・？
- 問題点を明確にし、「地域づくり」とは何かを考えていけるような会でありたい。
- 同じ団体のグループ交流から他団体との交流へ。
- 関係する団体が連携し、問題解決・活動が向上する方向に結びつけることを望みます。
- ある程度、同じ目標を持った会の集まりの方が良いのでは。
- 関係する団体と絆を深め相乗効果を高めて行きたい。

### 3 自由意見

- 支所が運営するのではなく、全体の意見を集約することで、新しい芽を育てることが大切です。小川課長の司会の方向で！
- 小国も横のつながりが大切。
- 会員の意識を高めるために、汗をかく人材が不足している。若い人をこの会に引き込むための工夫などを聞いてみたい。
- 正直、他の団体さんと交流する余裕がない。
- 造形大の先生より、地域に学生を入れていきたいというお話もいただいています。まだプランがぼんやりですが、何か決まってきたらご相談します。
- 高齢化している稲作一本の私共の団体が、常に若い人たちに組織をゆだねたいと思っているが、若い人の参加がない為に地域の話し合いが

大切と考えます。特に高齢化が大切な課題です。

- 出席者の皆さんが集落の事（高齢者が多くなっている）を良く考えて、将来の田んぼを見捨てない姿勢で取組んでいるのに安心できました。
- 勉強の場と考えて参加させてもらった。地域づくり等に関する集落や組織で取組める市や県等の補助事業に関する事（建物や施設整備を含めて）知りたい。
- 6次産業の加工品販路拡大に向けての指導及び情報交換等々・・・。
- 支所だよりで各団体の活動内容、月・年会費、講師名など、新会員を募集している団体は特に紹介することを検討してほしい。
- この会の方向性、目標を明らかにして会を進めていただきたいです。
- 小国地域全体に広がる除雪隊ネットワークの考えに期待する。
- この交流会をどんな方向にしたいのか意味不明。
- 動物の棲息調査結果を何としてもまとめたい。その為には多勢の「目」情報がほしい。
- このような機会を設けていただきありがとうございました。「地域づくり」は広く多岐にわたるので、目的や内容を整理したり、しぼったりして問題を解決していけるようにしたい。例えば「市民協働による地域づくりのために・・・」グループを福祉、教育、生活安全、産業などに分けて話合うなど・・・。
- 小国地域が連携し、他地域との交流の場が出来れば良いと思う。
- 地域内に今回参加していない団体もあると思うが検討願いたい。